

# 尾道新聞

平成 31 年 2 月 1 日創刊  
 〒722-0035  
 尾道市土堂二丁目10番3号  
 尾道商工会議所3階9号  
 株式会社 尾道新聞社  
 編集 半田元成  
 TEL(0848)23-2288 FAX(0848)23-2289  
 E-mail:news@omnp.jp

尾道新聞の購読申込は  
 中国新聞尾道販売店  
 中国新聞尾道北販売店(谷新聞舗)  
 中国新聞尾道西販売店(谷新聞舗)  
 中国新聞尾道東販売店  
 中国新聞向島販売店(勝島新聞舗)  
 中国新聞因島南販売店  
 中国新聞因島西浦販売店  
 中国新聞因島大浜販売店  
 中国新聞因島中庄販売店  
 中国新聞因島重井販売店  
 中国新聞松永販売店  
 中国新聞福山瀬戸販売所(松永支所)  
 読売センター尾道中央  
 読売センター尾道北  
 読売センター尾道・尾道東部  
 読売センター向島  
 毎日新聞尾道販売所  
 毎日新聞松永販売所  
 毎日新聞金江専売所  
 朝日新聞サービスアンカー-ASA尾道  
 朝日新聞サービスアンカー-ASA尾道北  
 朝日新聞サービスアンカー-ASA御調  
 朝日新聞専売所  
 朝日新聞サービスアンカー-ASA松永  
 各販売店にお申し込み下さい

8日のこよみ(大潮)

赤	満潮	10:50	370
		22:39	342
	干潮	4:29	36
		16:51	94
	日出	6:33	
	日入	17:08	

JPICから「うらしまへ」

## 児童に絵本と本棚届ける 本だなプロジェクトで読書推進

浦崎町で地域活性化、子どもの居場所づくりに取り組むUMEPプロジェクト(高橋真理子代表)による「UMEP house うらしまへ」が、一般財団法人出版文化産業振興財団(JPIC)による「本だなプロジェクト」の対象に選ばれ、4日に「うらしまへ」で本棚と本の寄贈、読み聞かせが行われた。

本だなプロジェクトは、全国の子ども食堂や無料塾に本棚と本を寄贈し、毎月おはなし会を開く取り組みで、子どもたちに読書の楽しさ、本を選ぶおもしろさを感じてもらい、本と触れ合う機会を増やすことを目指している。



児童と読み聞かせボランティアの皆さん

今年度は、浦崎町 無料塾で本だなプロジェクト「うらしまへ」を含む全国10カ所の子ども食堂、の書店、出版社、取次など出版業界が協力し、10月27日から11月23日(水)まで展開している読書推進キャンペーン「BOOK MEET NEXT」のひとつとして、同期間中に各所で取り組みを進めている。

また、日本図書普及株式会社との協力で図書カード1万円分も贈呈された。

寄贈を行ったJPICの河合香峰子さんは「ただ本を寄贈するのではなく、読み聞かせのおはなし会を開くことで、子どもたちが本を楽しむ体験を増やし、豊かな読書文化を育てていきたいです。寄贈した本棚に、これからどんどん本を増やしてもらえればと思います」と話した。

「うらしまへ」では寄贈



寄贈本でおはなし会

「大野明穂」

された本棚2台を組み立てた後、午後3時前

浦崎小学校から下校した1、2年生たちが寄贈本に本だなプロジェクトのシールを貼り、本棚に本を収めた。

贈呈された図書カードは、児童の保護者たちに託し、児童たちがそれぞれで本を選んで買う楽しさを実感した上で、「うらしまへ」の蔵書として持ち寄ってもらうことを予定している。

午後3時すぎには、「うらしまへ」で毎月1回の読み聞かせをしているボランティアの皆さんが、1、2年生児童7名に、寄贈本から「10

新しい本をいただいたので、本当にありがたいです。会話が生まれるきっかけにもなり、読み聞かせボランティアの皆さんにとっても励みになります」と感謝の気持ちを述べ、「読み聞かせなどで本に触れることで読解力や伝える力を身につけることができ、集中力も高まります。子どもだけでなく、高齢者の方、地域全体でつながりを広げ、活動していきたいです」と話した。

### 加島南方海上で衝突事故が発生

尾道海上保安部によると、6日午前6時40分頃、加島南方の2600坪の海上で、福